

千代田区将棋大会 運営方法・競技規定

※参加人数や進行状況等により、下記の内容は変更になる場合がございますので、ご了承ください。

大人の部(一部・二部)

- (1) 一部(初段以上)と二部(一級以下)に分け、対局はトーナメント方式(当日抽選)とし、準決勝の敗者同士で3位決定戦を行います。また、1回戦の敗者による敗者トーナメントを行います。午前中で2回の対局を予定しております。
- (2) 持ち時間は各25分とし、時間切れ後は1手30秒です。対局時計を用います。
- (3) 上位3位までを入賞とし、賞状等を授与します。また、敗者復活戦の最終勝者にも、敢闘賞として賞状を授与します。表彰式終了時刻は16:00を見込んでいますが、進行状況等により変更になりますので、ご了承ください。

小中学生の部

- (1) 8名ずつの2つの予選リーグ(当日抽選)を行い、各リーグの1位、2位の計4名で決勝トーナメントを行います。また決勝トーナメントの敗者で3位決定戦を行います。
- (2) 対局時計は用いませんが、対局が長引いた場合は途中から1手30秒の秒読みを行います。
- (3) 上位3位までを入賞とし、賞状等を授与します。表彰式終了時刻は13:00を見込んでいますが、進行状況等により変更になりますので、ご了承ください。

詰将棋

当日、詰将棋を出題します。正解発表15分前を解答提出期限とし、閉会式に正解を発表します。正解者の中から得点上位者に記念品を贈呈します。

※子どもさん向けには、早く帰る方もいるため、お昼ごろ発表する予定です。

競技規定

1 総平手戦	対局者の段級に差があっても、駒落ちや持ち時間差のハンデは設けない。
2 先手後手	振り駒で決定する。対局者の段級に差があっても、先後は振り駒で決定する。
3 持ち時間	25分とする。これを使い切った場合、一手30秒とし、30秒以内に指さない場合は負けとする。
4 対局時計について	①対局前に両対局者の持ち時間（25分）と秒読み時間（30秒）をセットする。 ②後手番の指定する場所に置く。なお、後手番が右利きなら、後手番から見て将棋盤の右側に置くのが一般的である。
5 対局時計の使用方法	① 対局開始時に後手番がボタンを押し、先手が第一手を指す。 ② 両対局者共、一手指す度にボタンを押し。 ③ 指してから、指した手でボタンを押し。 ④ 持ち時間を使い切ると、音声やブザーが鳴り、自動的に秒読みモードになる。 ⑤ 秒読みモードで30秒以内に指してからボタンを押さないと、負けを宣告する電子音または音声が出る。
6 持将棋	27点法を用いる。同点の場合は後手の勝ちとする。 双方が入玉して勝負がつかない場合、双方の駒数で勝敗を判定する。玉は0点、飛車・角は5点、金・銀・桂・香・歩は1点で計算する。 (対局開始のときは、双方27点となっている)
7 千日手	同一局面4回で千日手が成立し、先後を入れ替えて再対局とする。 対局時計を止め、残り時間を持ち時間にして再開する。 先後を入れ替えるため、対局時計の向きが変わる。 その際、対局時計の左右の残り時間を正確に入れ替えること。
8 反則	二歩、二手指し、禁じ手等の反則は即刻負けとなる。 ただし、反則に気付かずに対局が終了した場合は、投了を優先する。
9 トラブル時	反則等の状態で、双方の意見が一致しない場合は、直ちに係員を呼ぶ。 盤面は崩さずに保存し、対局時計の「中断」ボタンを押して時計を止める。係員や審判長が裁定する。
10 審判長裁定	対局開始後1時間を経過しても勝負が決着しない場合は、審判長が局面を判定して勝敗を裁定する。また、この競技規定で定めのない状況が発生した場合は、審判長が裁定し、裁定に従わない方は、失格とする。